

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 30. 3. 28 第 196 回国会第 5 号

3 月 28 日（水）、第 5 回の委員会が開かれました。

## 1 盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約の締結について承認を求めるの件（条約第 1 号）

### 二千九年の船舶の安全かつ環境上適正な再資源化のための香港国際条約の締結について承認を求めるの件（条約第 2 号）

- ・河野外務大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・両件について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承認すべきものと決しました。（賛成一自民、立憲、希望、公明、無会、共産、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

#### 杉田水脈君（自民）

- ・視覚障害者等に対する点字を用いた外国語教育の現状について伺いたい。
- ・シップリサイクル条約は、我が国が作成を主導して 2009 年に採択されたにもかかわらず、現時点で未締結である理由は何か。
- ・慰安婦問題に関する我が国の立場について、女子差別撤廃条約第 7 回及び第 8 回政府報告審査（2016. 2. 16）での杉山外務審議官の発言内容を外務省 H P の「歴史問題 Q & A」に載せていない理由を伺いたい。

#### 篠原豪君（立憲）

- ・マラケシュ条約を実施するための国内法改正について関係団体との調整に時間がかかった理由を伺いたい。
- ・視覚障害者等の 9 割は開発途上国に居住しており、我が国は積極的に支援を行う必要があるのではないか。
- ・今後、環境規制が厳しくなり、人件費よりも技術力が船舶リサイクル価格の決定要因になった場合に、我が国及び我が国の企業が船舶リサイクル事業を主導する可能性があると思うが、政府の認識はどうか。

#### 小熊慎司君（希望）

- ・公共図書館における視覚障害者等支援の取組が、自治体の規模等により差が出ないようにどのような整備、支援を行っていくのか。
- ・我が国は、インドの船舶リサイクル施設に対して支援を行っているということだが、他の主要な船舶解体国であるバングラデシュ、パキスタンに対する支援の現状及び今後の方針を伺いたい。
- ・英国における元ロシア情報機関員襲撃事件を受けて、諸

外国と同様に我が国も露外交官を追放するつもりがあるのか、我が国の対処方針を伺いたい。

#### 岡田克也君（無会）

- ・河野外務大臣が、米国の「核態勢の見直し（N P R）」について高く評価するのは、N P R 全体か、拡大抑止へのコミットメントに係る部分か。
- ・今回の N P R では、核の役割は減少しているか、拡大しているかについて、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の N P R の策定に関し、我が国が米国に対して核の役割を拡大してもらいたいと働きかけた事実はあるか。

#### 穀田恵二君（共産）

- ・利用しやすい様式の著作物が極めて少ないという「本の飢餓」について、河野外務大臣の認識を伺いたい。
- ・著作権法第 37 条第 3 項の改正にかかる障害者団体の要望に政府はどのように対処していく方針なのか。
- ・我が国の船舶を、我が国では行われていない危険なピーチング方式による解体を行っている開発途上国に持って行って解体していることについて、政府はどう考えているのか。

#### 丸山穂高君（維新）

- ・北朝鮮の金正恩委員長が中国を訪問したと報じられているが、この状況を我が国としてどう見ているか。
- ・利用しやすい様式の複製物を増やすための国内における体制整備及び支援に関する政府の方針を伺いたい。
- ・シップリサイクル条約の発効に必要な条件を満たすことはできるのか、見通しを伺いたい。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。  
詳細な内容については会議録を御参照ください。